

設立20周年記念誌

～ 20年間のご支援に感謝をこめて～



神奈川県ユニセフ協会

ご挨拶



このたび神奈川県ユニセフ協会は設立20周年を迎えることとなりました。ご支援いただいた皆さまに心より感謝を申し上げます。

2005年9月に神奈川県ユニセフ協会の前身である『財団法人日本ユニセフ協会 神奈川支部』が誕生。以来、日本ユニセフ協会との協力協定に基づき、20年にわたり、募金活動や広報活動、アドボカシー活動などに取り組んできました。とりわけ、当協会では、「人身売買からラオスの子どもたちを守る」「モルディブのすべての子どもに栄養と未来を」「児童労働と闘うネパール指定募金」「暴力と虐待から子どもを守るカンボジア指定募金」「児童婚を終わらせるガーナ指定募金」など独自の指定募金に取り組み、プロジェクトでの成果を収めてまいりました。

「紛争」「気候変動」「貧困」「感染症」の問題など、世界の子どもたちを取り巻く環境は厳しさを増しています。神奈川県ユニセフ協会では、県内の地方自治体、協力企業、学校、支援団体の皆さま、ボランティアの皆さまに支えられながら「ハンド・イン・ハンド」に代表される募金活動や、各種イベントの開催・出展、ユニセフ学習会の開催、機関誌「かながわニュースレター」の発行、ホームページ等での広報・啓発活動を行っております。

20年にわたり当協会がユニセフ支援活動を活発に展開できたのも、皆さまのご支援の賜物と深く感謝しております。これからも当協会の活動になお一層のご理解、ご支援をよろしくお願いいたします。

2025年7月吉日

神奈川県ユニセフ協会 会長 **梅原 出**
(国立大学法人 横浜国立大学学長)

もくじ

会長挨拶	1
組織概要/活動方針/活動内容	2
祝辞	3～4
年表	5～6
広報啓発活動	7～8
ユニセフ協力活動 (指定募金)	9
ユニセフ協力活動 (ハンド・イン・ハンド募金) ..	10
ユニセフ協力活動 (ユニセフ・ラブウォーク)	11
学習支援活動	12
組織強化	13
理事・評議員名簿	14

©UNICEF/UNI578436/Khalil アル・セリフ村にユニセフが設置した給水施設で水をくむマヤダさん（スーダン、2024年5月18日撮影）／©UNICEF/UNI659740/Pocate rra 自宅の庭のテーブルに集まって楽しそうに遊ぶアニータさんといとこたち（ベネズエラ、2024年6月12日撮影）／©UNICEF/UNI596661/Dejongh ベリーズシティの保健所で、検診と定期予防接種を受ける4歳の女の子。（ベリーズ、2024年6月18日撮影）／©UNICEF/UNI560594/Keita 生理用ナプキンを手作りする14歳のウムさん。（マリ、2024年4月23日撮影）

組織概要

（2025年4月現在）

団 体 名	神奈川県ユニセフ協会
代 表 者	会長 梅原 出
所 在 地	〒231-0063 神奈川県横浜市中区花咲町2丁目57 ミシナビル201
連 絡 先	電話：045-334-8950 FAX：045-334-8951
E - M a i l	info@unicef-kanagawa.jp
U R L	http://www.unicef-kanagawa.jp
設 立 日	2005年9月9日 (2011年4月1日／ 日本ユニセフ協会神奈川支部より移行)
役 員 数	顧問4名／理事26名／監事2名
評 議 員 数	46名
運営委員数	23名
ボランティア	
登 録 者 数	101名
事 業 内 容	広報活動／募金活動／視聴覚教材の貸出／ 学習支援講師の派遣／セミナーの開催／イ ベントの企画・実施など

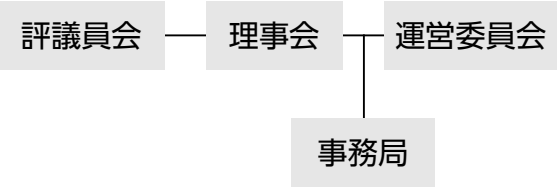
活動内容

広報・啓発活動	機関誌発行・広報物制作 HP・SNSでの情報発信 主催事業の企画・運営 各種イベント出展 外国コイン・書き損じハガキ募金 学習支援講師派遣・育成 学習会・セミナー開催 視聴覚ライブラリー貸出	ユニセフ 協力活動	指定募金の推進 主催事業の企画・運営 緊急募金
		組織強化	ボランティアの育成 賛助会員の拡大 協力者との連携

活動方針

1. 地域的視点を大切にしたユニセフ協力活動をすすめます。
2. 魅力的で持続するユニセフ協力活動を展開し、国際理解の普及を図ります。
3. 各界およびユニセフ支援者とのネットワークを大切にし、県内にユニセフ協力活動を広げます。

機関運営図



ユニセフ・日本ユニセフ協会・神奈川県ユニセフ協会について

ユニセフ（UNICEF：国際連合児童基金）は、すべての子どもの命と権利を守るため、最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、約190の国と地域で活動しています。その活動資金は、すべて個人や企業・団体からの募金や、各国政府からの任意拠出金でまかなわれています。

日本ユニセフ協会は、現在先進国を中心に32の国と地域に設置されているユニセフ協会（国内委員会）の一つです。各国内委員会は、ユニセフ本部との協力協定に基づき、募金活動、広報活動、アドボカシー活動（政策提言）に取り組んでいます。

神奈川県ユニセフ協会は、日本ユニセフ協会との協力協定に基づく「協定地域組織」です。また、神奈川県内唯一のユニセフ募金窓口です。その前身は、2005年9月に設立した（財）日本ユニセフ協会神奈川支部で、2011年4月に「日本ユニセフ協会神奈川支部」から移行し現在に至っています。世界の子どもたちの生存・発達・保護・参加のための広報、募金、学習支援などのユニセフ支援活動を、神奈川県内において促進することを目的としています。

祝 辞



神奈川県知事
黒岩 祐治

20周年をお祝いして

神奈川県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを、心よりお祝い申し上げます。

貴協会は、平成17年に前身の財団法人日本ユニセフ協会神奈川県支部として設立されて以来、世界の子どもの権利の保護や支援を必要とする子どもたちのために、広報及び募金活動など様々な活動を通じて、ユニセフの神奈川における拠点として精力的に活動してこられました。横浜開港以来、海外との交流を重ねてきた神奈川において、子どもたちへの温かい支援を通じて、本県と世界の子どもたちをつなぐ架け橋として御活躍されてきた歴代の会長をはじめ、役員、会員の皆様の御尽力にあらためて感謝申し上げます。

子どもたちが明るい未来を描くことが出来るような社会を作ることは、私たち大人の責務です。しかしながら、ロシアによるウクライナへの軍事侵攻や世界各地での紛争、激甚化する自然災害、病気、貧困などにより、今日においても日々生命の危機にさらされ、基本的な人権の保障や十分な教育を受けることができない子どもたちがいます。こうした中、世界中で子どもたちに人道的支援を行っているユニセフの活動に対する国際社会の期待は、ますます大きくなっています。

本県でも、「あーすぷらざ」を中心に、特に次代を担う子どもたちがこうした課題への理解を深めることができるよう、展示やイベントなど様々な取組みを進めています。地域からの国際貢献を広げていくうえで、貴協会が果たしている役割は非常に大きく、神奈川県としても、今後一人でも多くの方が身近な国際貢献活動を理解し、取組みの輪が一層広がるよう、皆様の活動を応援してまいります。

設立から今日までの活動を支えてこられた多くの皆様方に深く敬意を表するとともに、20周年を契機に、神奈川県ユニセフ協会がますます御発展され、御活躍されますことを心から祈念いたしまして、お祝いの言葉といたします。



川崎市長
福田 紀彦

神奈川県ユニセフ協会が設立20周年を迎えられましたことを心よりお慶び申し上げます。また、設立以来、世界中の子どもたちの生命、健康、権利の保護といった多方面にわたるユニセフ活動について精力的に広報、啓発等の活動を行ってこられましたことについて心からの敬意を表します。

さて、川崎市では、人口が155万人を超え、引き続き増加傾向にある中で、18歳未満の子どもは、人口の約14%を占めており、川崎市の未来を担う子どもたちに大きな期待が寄せられています。

一方で、子どもや子育てをめぐる環境を考えますと、いじめや児童虐待など、憂慮すべき問題があります。

本市では、全国に先駆けて「川崎市子どもの権利に関する条例」を制定し、本年度25年となります。子どもが一人の人間として尊重され、自分らしく生きられるまちをめざして、様々な施策に取り組んでおります。

子どもたちが安心してすこやかに成長し、笑顔あふれる未来を生きるためには、地域社会全体で子どもを見守り支える仕組みづくりが重要と考えております。そして、こうした社会の実現のために、ユニセフや貴協会の取り組みが今後ますます重要な役割を果たされるものと期待しております。

結びになりますが、貴会の益々のご発展とご活躍を祈念申し上げ、20周年のご挨拶とさせていただきます。



相模原市長
本村 賢太郎

神奈川県ユニセフ協会が、20周年の記念すべき年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

世界には、今この瞬間にも紛争地帯や医療施設のない場所等、劣悪な環境の中で命を脅かされている子どもたちがおり、その尊い命を守るために、長年にわたり、飢餓や貧困、居場所を失った子どもたちに救いの手を差し伸べ続ける皆様のご尽力に敬意を表しますとともに深く感謝申し上げます。

本市では、次代を担う子どもたちが主体となり、貴協会と連携して募金活動を行うなど、身近な国際貢献に取り組んでおり、こうした活動から市民一人ひとりが世界の一員として自分に何ができるのかを考え、行動する契機となることを期待しております。

また、本市といたしましても、「相模原市子どもの権利条例」に基づき、「子育てするなら相模原」をキャッチフレーズに、子どもたちが健やかに成長できるまちの実現を目指して、子どもの権利を保障する取組を推進しており、本年4月1日には、社会全体で子育てを応援する機運を醸成するため「子育て応援条例」を施行しました。今後とも、地域の子どもたちを守り育てるため、変わらぬお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びとなりますが、貴協会のますますのご発展とご活躍をお祈り申し上げ、お祝いの言葉といたします。

年表

神奈川県ユニセフ協会 20年間のあゆみ（2005年～ 2014年）

2005年	9月	財団法人日本ユニセフ協会神奈川県支部設立 設立記念キャンペーンとして指定募金に取り組むことを決定
	10月	パキスタン地震緊急募金
	12月	初めてのハンド・イン・ハンドに取り組む（横浜・平塚会場）
2006年	2月	キャンペーンの指定国と指定プロジェクトを決定 支援国：第1次指定募金 ラオス「人身売買からラオスの子どもたちを守る」開始
	6月	ジャワ島地震緊急募金
	8月	第1回ユニセフ・子どもサマースクール開催
	12月	第28回ハンド・イン・ハンド、大規模な街頭募金として県下3会場での取り組みを開始
2007年	1月	子ども参加企画「第1回新春子どものつどい」開催
	3月	第1回ユニセフのつどい開催（現在の1Day for UNICEF）
	10月	子ども参加企画「わくわくワークキャンプ」実施
2008年	4月	第1回ユニセフ・パネル展「アフリカ・あふりか・AFRICA」
	5月	中国四川大地震緊急募金 ミャンマーサイクロン緊急募金
	11月	ラオス指定募金スタディツアー実施
2009年	2月	パレスチナ自治区ガザ人道支援緊急募金
	5月	第1回ユニセフ・ラブウォークinかわさき開催 フィリピン台風緊急募金
	11月	人形劇「ユニ・カナ劇団」活動開始
2010年	1月	ハイチ大地震緊急募金
	10月	第2次指定募金「モルディブの子どもたちに栄養と未来を」の取り組みを開始
2011年	3月	東日本大震災、約50年ぶりにユニセフの支援が日本に入る 東日本大震災後方支援活動開始 緊急募金／ちっちゃな図書館プロジェクト／現地応援スタッフ派遣
	4月	日本ユニセフ協会の公益財団法人への移行に伴い、協定地域組織として「神奈川県ユニセフ協会」に名称を変更 ユニセフかながわパートナーズ（賛助会員制度）開始
	10月	東日本大震災緊急支援「守りたい・子ども未来プロジェクト」実行委員会立ち上げ
	11月	スリランカ・モルディブ学習会開催
	1月	機関誌を「unicefかながわニュースレター」に改名
	3月	東日本大震災支援「福島の子どもの保養プロジェクト」開始
	9月	モルディブスタディツアー実施
2012年	10月	第1回1Day for UNICEF開催
	11月	書き損じハガキ募金の取り組み開始
2013年	1月	シリア緊急募金
	6月	TICAD V 第5回アフリカ開発会議（横浜市にて開催）ブース出展
	8月	事務所移転（横浜市中区弥生町へ） UNI-KANAプラザ（神奈川県のユニセフ協会の活動スペース）オープン
	10月	フィリピン台風緊急募金
2014年	1月	第3次指定募金「児童労働と闘うネパール指定募金」開始

神奈川県ユニセフ協会 20年間のあゆみ（2015年～）

2015年	4月	ネパール大地震緊急募金 設立10周年事業 「支援ギフトを届けよう！ユニセフ募金キャンペーン」開始
	6月	設立10周年事業 ユニセフ・チャリティゴルフコンペ開催
	8月	設立10周年事業 「1Day for UNICEF」開催
	9月	国連で持続可能な開発目標（SDG s）が採択される
2016年	3月	「3.11メモリアルイベント」で「子どもにやさしい空間（CFS）ワークショップ」開催
	11月	「1Day for UNICEF –ネパール編」開催 指定募金ネパールスタディツアー開催
2017年	3月	UNICEFハーモニープロジェクト 発足
	5月	ロヒンギャ難民緊急募金
2018年	5月	記念大会「第10回 ユニセフ・ラブウォークinかわさき」開催
2019年	1月	第4次指定募金「暴力と虐待からカンボジアの子どもたちを守る」開始
	4月	事務所を現住所（横浜市中区花咲町）へ移転
	6月	TICAD VII 第7回アフリカ開発会議（横浜市にて開催）関連イベント「1Day for AFRICA –体験・発見・アフリカ大陸」開催
	10月	東日本大震災緊急支援「守りたい・子ども未来プロジェクト」8年間の活動終了
	11月	「子どもの権利条約」採択30周年
2020年		新型コロナウイルス感染拡大に伴い「ラブウォークinかわさき」「子どもにやさしい空間研修会」「地球市民フェスタ」をはじめとする企画の中止や延期
	4月	新型コロナウイルス緊急募金
	12月	コロナ禍による街頭募金の開催中止とハンド・イン・ハンドオンライン募金サイトの開設
2021年	4月	コロナ禍版「出前学習会のご案内」を作成し、すべての小・中・高等学校に配布
	5月	感染拡大防止対策を講じて「第12回ユニセフ・ラブウォークinかわさき」の再開と参加者対象に「15周年記念抽選会」のオンライン開催
	6月	ユニセフ・チャリティゴルフ大会の再開
2022年		新型コロナウイルス感染拡大防止のため、オンライン中心の活動とパネル展の開催
	2月	ウクライナ緊急募金
	8月	自然災害緊急募金（パキスタン洪水）
2023年	2月	自然災害緊急募金（トルコ・シリア地震）
	6月	日本ユニセフ協会主催「ユニセフ・キャラバン・キャンペーン」神奈川県開催への協力
	9月	自然災害緊急募金（リビア洪水）
	10月	自然災害緊急募金（アフガニスタン地震） ガザ人道危機緊急募金
	11月	第4次指定募金カンボジアスタディツアー実施
	12月	コロナ禍で中断していた街頭募金活動「ハンド・イン・ハンド」の4年ぶり再開 「神奈川県ユニセフ協会平塚友の会」が12月末日をもって解散
2024年	1月	第5次指定募金 ガーナ共和国「児童婚を終わらせるために」開始 第4次指定募金カンボジアスタディツアー現地視察報告会開催
	7月	「もったいないばあさんのワールドレポート展」と真珠まりこさん講演会開催
2025年	3月	自然災害緊急募金（ミャンマー地震）
	7月	設立20周年記念イベント「1Day for UNICEF」開催

広報・啓発活動

ボランティアの皆さんや諸団体の協力を得ながら以下の広報・啓発活動を行いました。

- 広報物発行(機関誌「unicefかながわニュースレター」の定期発行、年次報告書の年1回の発行)
- ホームページやSNSを活用しての情報の発信
- プレスリリースによるお知らせ
- 各種イベントへの出展
- 学習支援講師派遣
- 学習会やセミナーの開催
- 学習資料や教材の提供・貸出し



2015年7月
サマースクール藤沢



2015年8月
サマースクール厚木



2016年2月
ハガキ仕分け活動



2016年3月
3.11メモリアルイベント



2017年7月
川崎フロンターレ・ファン感謝デー



2017年9月
JC大会



2018年5月
NTT地引網



2018年8月
AIDS文化フォーラム



2019年2月
地球市民フェスタ in Odawara



2019年7月
インターナショナルフェスティバル in カワサキ



2020年6月
カンボジア料理講習会



2020年12月
学校募金贈呈式



2021年2月
ピンクシャツデー



2021年6月
チャリティーゴルフ大会



2022年7月
文化祭「長後SDGs縁日」



2022年9月
カンボジア「パパパイア企画」



2023年7月
外国コイン仕分け活動体験



2023年11月
カンボジアスタディツアー



2024年10月
SDGsフェスティバル in ソレイユの丘



2024年11月
横浜ビー・コルセアーズウエイズトヨタ主催ゲーム

広報・啓発活動

写真パネル展

「3.11それぞれの今、そしてこれから～子どもたちの未来のために～」[新型コロナウイルスと世界の子どもたち]「危機下の子どもたちの平和の詩」[学校に戻れない子どもたちーパンデミック後の教育危機]「児童婚を終わらせるために」など、当時の社会状況を反映した写真パネルや、指定募金のパネルを作製し、県内各地の団体・企業にご協力いただき写真パネルの展示を行いました。



2016年3月
3.11メモリアルイベント



2017年7月
よこはま子ども平和スピーチコンテスト



2018年5月
川崎地下街アゼリアパネル展



2019年9月
ハートカフェ



2020年11月
GIG ME DO! パネル展



2021年9月
中央図書館



2022年5月
みどりアートパーク



2023年9月
フォーラム横浜



2024年7月
もったいないばあさんのワールドレポート展

募金活動

ユニセフ募金は、主に世界の子どもたちを守る（通常）一般募金と、一定の期間にテーマを絞ってプロジェクトを推進する指定募金、紛争や自然災害などから子どもたちを守る緊急・復興募金等に分類されます。

2022年～翌23年にかけては、紛争や自然災害の激化から、多くの方々の関心が寄せられたことが募金額の高さからもうかがえます。



街頭での募金活動

募金額の推移

	募金総額	一般募金	指定募金	緊急・復興募金等
2005～2015年	414,073,269	105,441,867	52,631,070	256,000,332
2016年	19,652,659	5,782,000	13,495,655	375,004
2017年	35,053,514	10,520,484	15,190,401	9,342,629
2018年	37,284,993	23,237,734	12,363,415	1,683,844
2019年	44,983,141	22,969,911	12,831,487	9,181,743
2020年	43,178,749	29,406,783	12,947,329	824,637
2021年	48,212,850	31,829,517	15,910,096	473,237
2022年	150,423,936	36,078,784	16,675,540	97,669,612
2023年	117,187,990	35,112,708	18,656,772	63,418,510
2024年	85,653,425	33,207,470	17,846,981	34,598,974
累計	995,704,526	333,587,258	188,548,746	473,568,522

皆さまのあたたかいご支援の結果、累計で約9億9,600万円の募金をお預かりすることができました。

ユニセフ協力活動（指定募金）

指定募金の取り組み

当協会では、設立以来、特定の国や地域、プロジェクトを指定して複数年に渡って支援をする指定募金を続けています。

指定募金は、「子どもたちに直接的な支援を行うことができる」また「成果が見える支援として、ユニセフを身近に感じてもらうことができる」ことから、「目標を持った活動で組織の活性化を図る」ことを目的に、当協会の活動の柱となっており、一貫して「子どもの保護」の分野で支援をしています。

●第1次指定募金「人身売買から ラオスの子どもたちを守る」2006年4月～ 2010年3月

支援総額 538,148.22米ドル (5,800万円)

●第2次指定募金「モルディブのすべての子どもに栄養と未来を」2010年10月～ 2013年9月

支援総額 514,819.07米ドル (4,274万円)

※神奈川・茨城・埼玉・千葉合同の取り組みで、神奈川からは2,203万円

●第3次指定募金「児童労働と闘うネパール指定募金」2014年1月～ 2018年11月

支援総額 616,400.70米ドル (6,790万円)

●第4次指定募金「暴力と虐待から子どもを守るカンボジア指定募金」2019年1月～ 2023年11月

内戦後、教育崩壊や経済格差が広がるカンボジアでは、学校や家庭での暴力による教育が当たりまえであり、多くの子どもたちが暴力にさらされています。神奈川県ユニセフ協会では、第4次指定募金先としてカンボジア王国における子どもたちへの暴力と虐待を改善するための支援に取り組みしました。

支援総額 636,593.97米ドル (7,716万円)



●第5次指定募金「児童婚を終わらせるためにガーナ共和国指定募金」2024年1月～ 2028年11月

目標金額 540,000米ドル (8,046万円)

児童婚のリスクが高いガーナの3つの地域（北部州、北東州、東部州）において、児童婚削減の活動を加速するため、対象地域の思春期の女の子とコミュニティの住民に向けたプロジェクトをすすめています。



ユニセフ協力活動（ユニセフ ハンド・イン・ハンド募金）

毎年12月に主要駅頭での街頭募金「ハンド・イン・ハンド募金」を開催しています。

コロナ禍で中断していた時期は「ユニセフ1minutes動画」を募集し、街頭募金に代わるオンライン募金を実施し、多くの子どもたちに動画投稿で参加していただきました。



2012年
JR橋本駅周辺



2012年
横浜駅西口



2017年
JR平塚駅北口



2018年
JR関内駅前北口



2018年
静岡・青葉イベント広場前



2019年
JR桜木町駅前広場周辺



2019年
JR川崎駅東口周辺



2019年
横浜ランドマーク



2019年
山梨・ラザウォーク甲斐双葉



2019年
小田急相模大野駅北口周辺



2023年
JR平塚駅北口



2023年
小田急相模大野駅北口周辺



2024年
JR桜木町駅前広場



2024年
JR川崎駅東口



2024年
JR平塚駅北口

ハンド・イン・ハンド実績推移表

年	会 場	参加人数 (人)	募金額 (円)
2005	横浜	200人超	32,966
2006	川崎・横浜・平塚	249	663,092
2007	川崎・横浜・平塚	300人超	967,881
2008	川崎・横浜・平塚	約370	907,285
2009	川崎・横浜・平塚	549	1,133,477
2010	川崎・横浜・平塚・相模原	644	1,202,945
2011	川崎・横浜・平塚・相模原	541	1,090,277
2012	川崎・横浜・平塚・相模原	533	1,087,059
2013	川崎・横浜・平塚・相模原	497	903,337
2014	川崎・横浜・平塚・相模原	592	967,284
2015	川崎・横浜・平塚・相模原	597	821,456
2016	川崎・横浜・平塚・相模原	516	822,119
2017	川崎・横浜・平塚・相模原	500	552,327
2018	川崎・横浜・平塚・相模原・静岡・山梨	606	840,862
2019	川崎・横浜・平塚・相模原・静岡・山梨	483	738,102
2020	コロナ禍により活動中止		
2021			
2022			
2023	川崎・横浜・平塚・相模原・静岡・山梨	317	616,202
2024	川崎・横浜・平塚・相模原・静岡・山梨	277	460,758



ユニセフ協力活動（ユニセフ ラブウォーク）

参加費をユニセフ募金とするウォーキングイベント「ユニセフ・ラブウォークinかわさき」は、2009年にイベントを開始。コロナ禍で一旦中断されたものの、2021年からは感染拡大に配慮しながら活動を再開をしています。2024年までの15回の開催で、のべ5,136人の参加、170万円以上の募金をお預かりすることができました。



ユニセフ ラブウォーク参加人数と募金の実績

開催年		参加人数	募金額 (円)
2009年	第1回	290	73,240
2010年	第2回	253	57,300
2011年	第3回	263	79,830
2012年	第4回	536	148,583
2013年	第5回	402	116,729
2014年	第6回	400	118,816
2015年	第7回	343	106,954
2016年	第8回	418	145,769
2017年	第9回	573	195,167
2018年	第10回	543	228,627
2019年	第11回	438	135,058
2020年	コロナ禍による開催中止		
2021年	第12回	141	57,700
2022年	第13回	192	94,012
2023年	第14回	141	90,270
2024年	第15回	203	76,558

学習支援活動

- 学校や組織・団体向けに世界の子もたちの現状やユニセフの活動についての学習会を開催しました。
- 新学習指導要領に沿った「ユニセフ学習会のご案内」を作成し、県内の市町村教育委員会を通じてすべての小・中・高等学校へ配布しました。また、コロナ禍に応じた「ユニセフ学習のご案内」を作成し、オンライン学習や少人数での学習会など、感染対策を講じて学習会を開催しました。



2016年～2024年 学習支援実績

年	幼稚園	小学校	中学校	高等学校	大学・専門学校	一般	他	合 計	
								件	人
2016	1	16	11	3	2	3	0	36	6,571
2017	1	23	15	4	1	8	2	54	10,318
2018	0	24	13	1	0	6	0	44	7,458
2019	0	21	11	2	0	8	0	42	8,035
2020	0	19	10	2	0	1	0	32	4,165
2021	0	14	15	1	1	4	0	35	4,528
2022	0	17	19	5	1	11	0	53	7,465
2023	1	15	12	6	2	9	0	45	6,354
2024	1	17	9	7	4	12	2	52	5,389

組織強化

①ボランティア

コロナ禍でユニセフの活動やボランティアの登録人数が減少しましたが、新規ボランティアの募集と説明会を定期的に開催したことにより、少しずつではありますが、新たなボランティア登録者も増えています。

ボランティア登録者の皆さんには、定期的にメールマガジン「ユニかなレシピ」を発信し、必要な情報提供を行っています。

②「ユニセフかながわパートナーズ」(賛助会員)

「ユニセフかながわパートナーズ」は神奈川県ユニセフ協会独自の賛助会員制度です。現在、多くの企業・団体のみなさまにご支援いただいております。

▶団体・企業賛助会員の皆さま(順不同)

生活協同組合ユーコープ、生活協同組合パルシステム神奈川、日本労働組合総連合会神奈川県連合会、株式会社神奈川新聞社、横浜信用金庫、ワールドバルブ株式会社、横浜商工会議所、川崎商工会議所、横浜ウィークリー株式会社、公益社団法人ガールスカウト神奈川県連盟、株式会社マイルストーンジャパン、T・Tスタジオ有限公司、神奈川県教職員組合、株式会社ティーエル、株式会社オフサイド、川崎新田ボクシングジム、ウェリナ横浜みなとみらい行政書士オフィス、生活クラブ生活協同組合・神奈川、株式会社ロッテ

機関誌発行

機関誌「unicefかながわニュースレター」を発行し、県内の協力者・学校・公共施設、ボランティアの皆さまに向けて、広報・啓発のための情報発信を行なっています。



機関誌・創刊号



機関誌

「wave神奈川vol.2」



機関誌「かながわニュース

レター vol.1 (通算26号)」



機関誌「かながわニュース

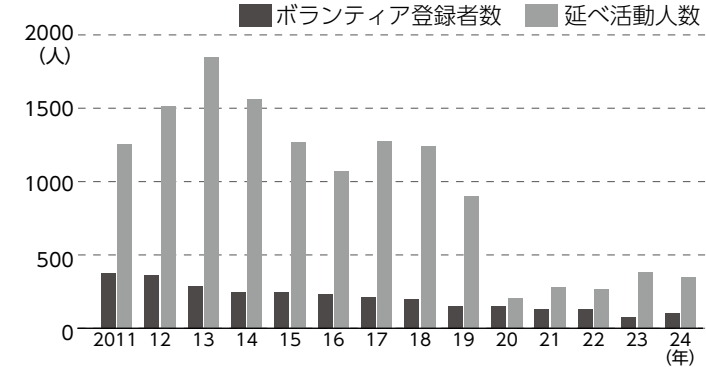
レター vol.27(通算52号)」



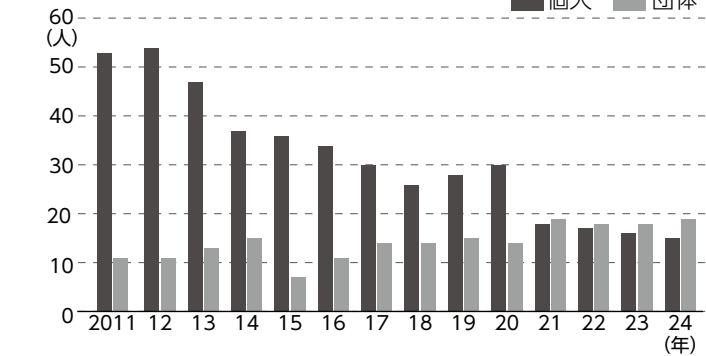
機関誌「かながわニュース

レター vol.43(通算68号)」

ボランティア推移



ユニセフかながわパートナーズ推移



理事・評議員名簿

2025年度顧問・理事・監事名簿

	氏名	所属
顧問	黒岩 祐治	神奈川県
顧問	福田 紀彦	川崎市
顧問	本村 賢太郎	相模原市
顧問	山中 竹春	横浜市
会長	梅原 出	国立大学法人横浜国立大学 学長
副会長	上野 孝	一般社団法人神奈川県商工会議所連合会 会頭
副会長	須藤 浩之	株式会社神奈川新聞社 代表取締役社長
専務理事	當貝 伸一	生活協同組合ユーコープ 代表理事理事長
常務理事	佐野 友保	日本ボーイスカウト神奈川連盟 副連盟長
常務理事	花田 忠雄	神奈川県教育委員会 教育長
常務理事	星崎 雅代	公益財団法人横浜市男女共同参画推進協会 理事長
理事	兄内 宏	公益財団法人かながわ国際交流財団 専務理事
理事	大黒 健司	公益社団法人日本青年会議所関東地区神奈川ブロック協議会 会長
理事	落合 隆	川崎市教育委員会 教育長
理事	齋藤 静子	神奈川県消費者団体連絡会 幹事
理事	三枝 忠裕	公益財団法人横浜市国際交流協会 理事長
理事	佐竹 博	公益財団法人横浜YMCA 総主事
理事	佐野 めぐみ	生活クラブ生活協同組合・神奈川 副理事長
理事	四條 信仁	神奈川県農業協同組合中央会 専務理事
理事	嶋田 充郎	株式会社テレビ神奈川 取締役総務局長兼技術局長
理事	下田 康晴	横浜市教育委員会 教育長
理事	鈴木 英之	相模原市教育委員会 教育長
理事	田中 知巳	神奈川県生活協同組合連合会 代表理事専務
理事	野辺 和美	株式会社横浜銀行 取締役執行役員
理事	橋本 眞智子	公益社団法人ガールスカウト神奈川県連盟 連盟長
理事	林 克己	日本労働組合総連合会神奈川県連合会 会長
理事	藤田 順子	生活協同組合パルシステム神奈川 理事長
理事	船山 範雄	公益財団法人川崎市国際交流協会 会長
理事	森 勝美	特定非営利活動法人かながわ女性会議 理事
理事	吉田 誠	ユニセフ支援市民団体ふれきしぶる代表
監事	木島 裕子	東京地方税理士会 会長
監事	畑中 隆爾	神奈川県弁護士会 会長

* 2025年4月1日現在のお名前です

2025年度 評議員名簿

氏名	所属・役職
會田 勉	神奈川県立学校長会議 議長
青木 恵美子	川崎市地域女性連絡協議会 会長
池澤 健一	株式会社日本経済新聞社横浜支局 支局長
石田 勲	株式会社朝日新聞社横浜総局 総局長
市川 昌樹	神奈川県公立中学校長会 副会長
鵜飼 俊行	神奈川県漁業協同組合連合会 代表理事専務
大川 哲郎	株式会社大川印刷 代表取締役社長
大谷 卓	株式会社産業経済新聞社編集局横浜総局 総局長
大津 博之	神奈川県子ども会連絡協議会 副会長
奥寺 康彦	株式会社横浜フリースポーツクラブ シニアアドバイザー
春日 隆	横浜信用金庫 理事長
加藤 文	株式会社東京新聞横浜支局 支局長
金井 克之	神奈川県労働者福祉協議会 事務局長
金田 賢一	俳優(金田賢一事務所)
木口 真治	神奈川県町村会 常任理事兼事務局長
木下 貴史	一般社団法人共同通信横浜支局 支局長
木村 洋太	株式会社横浜DeNAベイスターズ 代表取締役社長
草壁 悟朗	川崎商工会議所 会頭
小島 洋	株式会社時事通信社横浜総局 総局長
五大 路子	俳優(一般社団法人横浜夢座 オフィス路子)
榊原 政敏	ダ・カーポ音楽事務所
坂口 裕彦	株式会社毎日新聞社横浜支局 支局長
櫻井 龍一	公益財団法人神奈川フィルハーモニー管弦楽団 専務理事
清水 裕	一般財団法人神奈川県専修学校各種学校協会 会長
高倉 亨	株式会社アール・エフ・ラジオ日本 編成局次長兼報道部長
竹村 洋治郎	神奈川県市長会 常務理事兼事務局長
土屋 浩明	神奈川県公立小学校長会 会長
尖 秀雄	宗教法人吉祥院 檜チャリティコンサートホール 代表
中川 誠	株式会社読売新聞東京本社横浜支局 支局長
長戸 はるみ	国際ロータリー第2590地区 ガバナー
中山 昭宏	横浜マリノス株式会社 代表取締役社長
野村 晃一	全日本海員生活協同組合 専務理事
萩原 幸雄	一般社団法人横浜青年会議所 直前理事長
長谷川 伸行	生活協同組合うらがCO-OP 理事長
林 英一	相鉄ホールディングス株式会社 代表取締役会長
原 信造	株式会社ホテルニューグランド 代表取締役会長兼社長
平間 宏一	一般財団法人神奈川県私立中学高等学校協会 理事
平元 亨	日本放送協会横浜放送局 局長
福井 一光	神奈川県私立大学連絡協議会 会長
古郡 雅楽寿	横須賀国際交流邦楽友会 会長
眞壁 潔	株式会社湘南ベルマーレ 代表取締役会長
松信 裕	株式会社有隣堂 代表取締役会長
矢野 裕美	特定非営利活動法人神奈川県消費者の会連絡会 代表理事
横田 明彦	富士フィルム生活協同組合 理事長
吉田 明宏	株式会社川崎フロンターレ 代表取締役社長
善浪 裕勝	神奈川県仏教会 常務理事

* 2025年4月1日現在のお名前です



神奈川県ユニセフ協会

〒231-0063 神奈川県横浜市中区花咲町2丁目57 ミシナビル201

TEL : 045-334-8950 FAX : 045-334-8951

E-mail : info@unicef-kanagawa.jp

URL : <https://www.unicef-kanagawa.jp>